

# 第7期（2022年度）事業報告

## 1. 法人運営

### 2022 年度の活動

日程	活動内容
4月	清水沢まちあるき（23日）
5月	宮前町イルミネーション撤収（1日） 清水沢まちあるき（28日） ズリ山整備（29日） 清水沢アートパワープラント（30日～10月末）
6月	北広島まちを好きになる市民大学OB会講演（16日） 社員総会（オンライン併用）（18日） 清水沢まちあるき（28日）
7月	ズリ山草刈（3日） 夕張中学校1年生講演（5日） 清水沢まちあるき（23日）
8月	地域おこし協力隊支援業務受託、夏思雅着任（1日） 大学生滞在（4日～18日） 清水沢まちあるき（27日） 汽車フェスタ（共催、28日）
9月	アートマネージャー滞在（9～11日） 早稲田大学巡検サポート（10日） 夕張高校講話（21日） 清水沢まちあるき（24日）
10月	札幌座現地視察サポート（12日） 第100回鹿之谷ゼミナール講師（15日） 夕張中1年生総合学習対応（18日） 新夕張駅展覧会「紅葉山駅—新夕張駅130周年記念展「紅葉山」」（21日～） 夕張市民文化祭出展（22日～11月3日） 清水沢まちあるき（22日） 北広島市森の倶楽部講話（23日）
11月	大学生滞在（4～6日、10～12日） 清水沢まちあるき（26日） 宮前町クリスマスイルミネーション設営（27日） ありがとうさようなら清水沢駅展（りすた、30～12月13日）

日程	活動内容
12月	アバディーンエコミュージアムプロジェクト（12月～） 松延総司さん・アレクサンドルカトーさんサポート（5日） 地域おこし協力隊栗山町研修（7日） りすた国際交流広場（11日） イルミネーション点灯式（20日） 清水沢まちあるき（24日） 化石レプリカづくりワークショップ（27日）
1月	SCARTS AIRオープンミーティング（22日） 清水沢まちあるき（28日）
2月	全国石炭産業関連博物館等研修交流会（4、5日） 卒論発表会（19日） 市長選候補予定者と語り合う会（21日、3月3日） メイボン夫妻滞在（23～25日）、トークイベント（りすた、23日） 清水沢まちあるき（25日）
3月	夕張高校地理夏思雅総合授業（8日） 震災を語る講演会（りすた、11日） 宮前町の炭鉱住宅と地区浴場を記憶する調査室展（宮前町浴場、20日～4月7日） 清水沢まちあるき・浴場臨時営業（25日） 学童クラブ夏思雅中国文化交流（28、30日）

清水沢エコミュージアム行動計画第2期の1年目となりました。「ウィズコロナ」と言われるように、人の流れや社会も徐々に平常に戻りつつある中で、法人も多方面から多様な役割を求められ、駆け抜けた一年となりました。

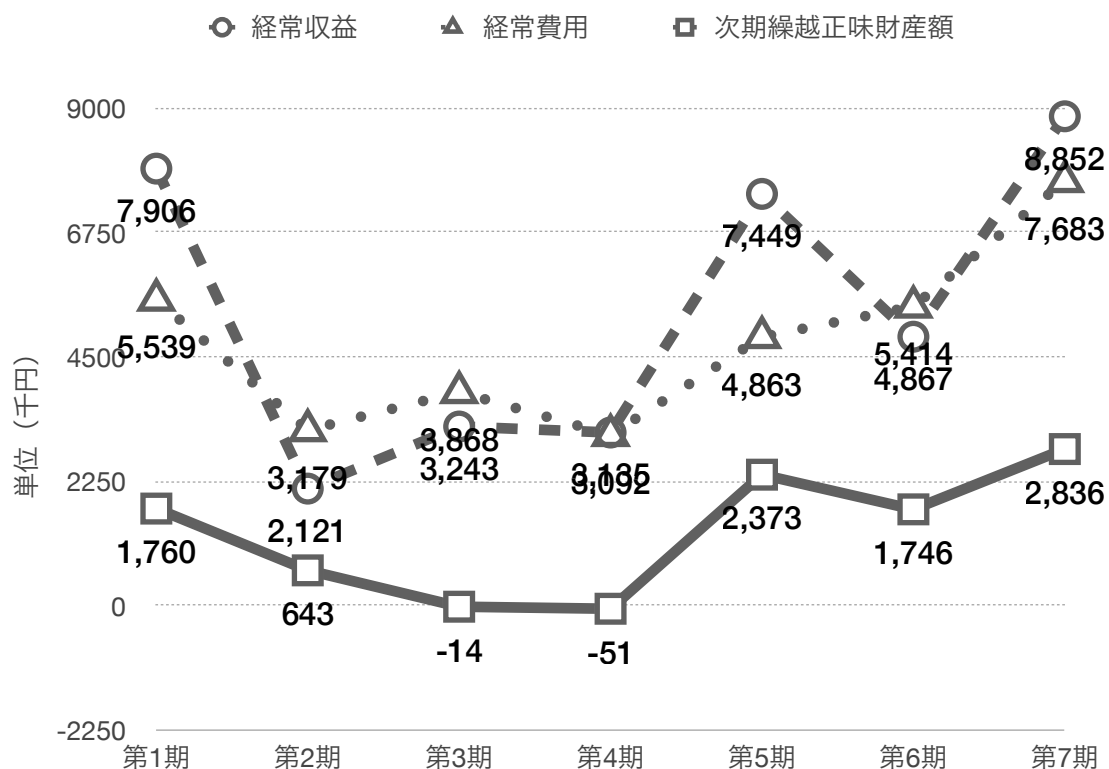
年度当初に賛助会員の金丸妙子さんより、100万円もの多額のご寄附を頂戴しました。金丸さんにはこれまでも黄色いハンカチ基金を通していただいております。重ねてのご厚情に深くお礼を申し上げます。永年賛助会員とさせていただきますと思います。かねてより懸案事項であった「除雪機」を購入させていただきました。ほかにも、賛助会員の大地コンサルタント株式会社からも黄色いハンカチ基金を通じて指定団体寄附を24万8千円、宮前浴場利用促進プロジェクトに感銘を受けた北海道電力ネットワーク岩見沢支店から、10万円のご寄附をいただきました。おかげさまでコミュニティゲートの運営費や、後述する宮前町浴場での調査室展にあてることができました。これらは日頃の活動を見守ってくださる方がいたからこそその成果ですが、一方で年度当初には助成金の獲得に動けず、また不採用になったものもあり、計画的な獲得は今年度も課題として残りました。国からの事業復活支援金や雪害保険金などまとまった金額の雑収入があったことで繰越正味財産も過去最高となりますが、「幸運に助けられた」格好であるのは否めません。

一方で、8月に「夕張市地域おこし協力隊(子ども・子育て支援部門)支援業務」を再開しました。埼玉県から転入した中国出身の夏思雅（かしが）は、中国の大学で幼児教育を専攻し、確かな知識と能力のある優秀な人材です。暑い地方の出身で夕張の冬の寒さに驚いていましたが、趣味の柔道などを通じて地域に溶け込んでいます。本人の希望もあり短いスパンで目標を立て、実行と検証を重ねつつ、本人が望む進路のサポートをしていきます。

長距離通勤の佐藤の車両費は毎年頭痛の種ですが、現在は月2万円のカソリン代とそれ以外の経費は15%を目処に経費負担しています。1月と3月にシカと衝突して車を入れ替えることになり、その際も取得金額の約15%の39万円を車両借上料相当として支出しました。

理事会設置型一般社団法人に向けて、準備としての任意の理事会の開催は実現できませんでしたが、理事間でコミュニケーションを取る機会が多く、様々な行事は理事はじめメンバーのサポートなしには実現できませんでした。

会員数は、3月31日現在正会員13名、一般会員27名、賛助会員9組、合計49名・社・団体となっています。正会員と賛助会員が増えたのは心強い一方で、一般会員の方で会費未納の方も一定数おり、「一年限りの支援」という感覚で参加されたものと見受けられました。会費の請求業務も滞りがちであるのは引き続き反省をし、改善していきたいと思ひます。



経常収益・経常費用・繰越正味財産額の推移

## 各事業の報告

### (1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

---

旧発電所、ズリ山、宮前浴場等炭鉱遺産関係の事業、駅展覧会、ガイド・調査研究アテンド 等

#### 旧発電所（清水沢アートパワープラント）

---

清水沢アートパワープラントは5月30日から10月31日まで公開を行いました。引き続き感染症対策にご協力いただきながら、一度も途中クローズすることなく乗り切ることができました。

見学コースを1日2回週4日、個人的な撮影コースを週1回と祝日のみの設定として実施しましたが、閑散期は月～木も個人的な撮影コースの受け入れを行いました。その結果、見学コースは78組150名、個人的な撮影コースは23組51名、団体は2組（夕張中学校オンライン、北海道教育大学岩見沢校）13名、商用利用4件11名でした。コロナ禍の影響がもっとも深刻だった昨年比で3倍の225名の方にお越しいただきました。2019年に比べると3分の2程度ですが、見学機会も1日3回から2回に減らしているため、コロナ禍以前の水準に戻ったと言えます。

#### ズリ山

---

5月29日（日）に清水沢プロジェクトのメンバーや夕張市役所職員など有志12名で作業を行いました。12回目にしてもっとも涼しい絶好の作業日和となり、作業効率も大幅に向上しました。防腐剤塗布のほか、階段の取り替え、杭の打ち直し、排水路の確保、椅子の補修、草刈りなどを実施しました。今年もあ・りーささんから階段用の木材を30本提供いただきました。その後7月3日（日）にさつき町内会4名と草刈りを行いました。今年度は北海道地域活動振興協会のボランティア活動支援事業助成金21,000円をいただき、整備活動費に充てさせていただきました。

#### JR新夕張駅展覧会

---

11月1日の紅葉山駅開業130周年に合わせて、10月21日から「紅葉山駅—新夕張駅130周年記念展『紅葉山』」を開催中です。11月中は開業130周年のお祝いのバナーを駅入口に掲出させていただきました。その前の「夕張駅・三代一時代とともに動いてきた駅—」については、10月22日～31日に開催された夕張市民文化祭に移設して継続展示を行いました。

#### その他の炭鉱遺産・関係箇所

---

11月上旬、旧清水沢駅舎の解体が始まりました。直接的に関わった炭鉱遺産の解体は初めてで、守ることができなかつた無力感を感じましたが、2019年の廃止時に集めた寄せ書きと過去の清水沢駅展の展示物で構成した「清水沢駅展覧会再展示『ありがとうさようなら清水沢駅展』」を、11月30日～12月13日の14日間、拠点複合施設りすたで緊急開催しました。

宮コ23棟が建設から50年に当たる今年、炭鉱住宅街としての景観保存を問いかけるため、炭鉱住宅に関する展覧会の開催を検討していました。しかし清水沢駅解体で展覧会が入ったこともあり先送りになっていましたが、秋に北海道電力ネットワーク株式会社岩見沢支店様から「宮前浴場利用促進プロジェクト」への評価でご寄附をいただいたことで、炭鉱住宅と浴場をセットでスポットを当てるべきだと考え、市営宮前町浴場で企画調査展示「宮前町の炭鉱住宅と地区浴場を記憶する調査室」を3月21日～4月7日に開催しました。営業中の浴場での展覧会というかなりハードルの高い挑戦でしたが、夕張市と宮前町浴場利用組合の協力の下、3月25日の臨時営業も含めて滞りなく終了しました。

2月には全国石炭産業関連博物館等研修交流会（全炭博研）の石狩会場の運営と、佐藤が「未指定文化財の保存・活用のあり方と課題—夕張市清水沢地区の炭鉱遺産の事例報告」をテーマに報告発表を行いました。

## みんなでつくる夕張の記憶ミュージアム

---

今年も優先順位が低く、毎月広報ゆうばりに掲載する以外に全く手がまわりませんでした。夕張地域史研究資料調査室の青木室長との連携も多忙のため、いまだ実現していません。

## (2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

---

アーティスト等のサポート、アバディーンとの交流、夕張Likers!、清水沢まちあるき 等

さっぽろ天神山アートスタジオの「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）」プログラムに関連し、松延総司さんとアレクサンドル・カトーさんの夕張りサーチサポートを行いました。北寿産業さんに協力いただき大量に採炭した石炭は、1月に札幌文化芸術交流センター SCARTSで開催された展覧会で作品として使われました。

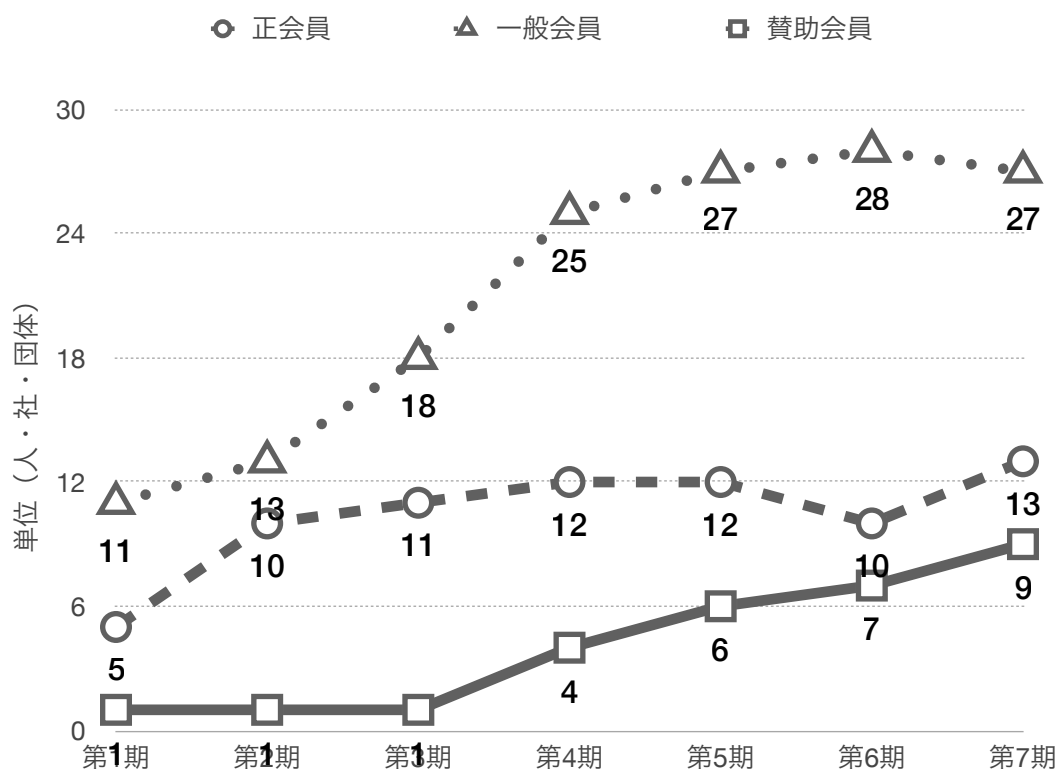
夕張市の関わり人口創出事業である「夕張Likers!」は、地域振興課と折々に話をしていますが、名刺の作成業務を無償で行っている状態がいまだ続いています。

大学生の卒業論文調査を3件受けました。建築学・社会学・経済学とすべて異なるアプローチでしたが、いずれの学生もこれまでの清水沢プロジェクトの活動をよく調べてくれました。地域に成果を還元することを条件に受諾しており、そのうちの2名が2月19日、ハイブリッド形式で開催した卒業論文発表会で発表してくれました。

## アバディーン//夕張プログラム

---

会員のメイボン尚子さんと続けている「Torry-Yubari Exchange（トリーと夕張の交流）」は、



昨年に続きオールド・トリー・コミュニティー・センターの「トリー・エコミュージアム・プロジェクト」の一環として、デジタル写真とインスタグラムを使ったトリーと夕張の交流を行いました。今年のテーマは「地域が大切にしている場所で育つ草木」で、それぞれの地域が気にかけて、整備をし、関わり続け、次世代に残したいと思う場所に育つ植物や木を5人の人々に紹介していただきました。ご主人で環境社会学者のレズリーさんと2人でそろって2月23日～25日にコミュニティゲートに滞在し、23日にりすたで開催したトークイベントには子どもも含めて20人近くの人たちが集まりました。

### (3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

#### 清水沢コミュニティゲートの運営

夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の7年度目となり、今年も「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、「清水沢コミュニティゲート」として、運営を行いました。

昨年度はゼロだった滞在者が、今年は5組（合計約25日間）ありました。学生や会員が多く収益はあまり上がりませんが、いずれも夕張で活動したいという意思を持った人々の滞在中、サポート側にとっても学びが多くあり、コミュニティゲートらしい活動でした。一方で、地域おこし協力隊は着任したものの、開館日を定めて来客対応することは一人体制ということもあり難しく、不定期開館の状況が続いています。

6月に雪害で軒が曲がった屋根の改修工事を行いました。3号室・4号室部分の軒部分を取り替え、屋根を張り替える大がかりな工事で、屋根塗装塗り替えも含めて白倉建設さんに132万円で施工していただきました。

冬場の対策として除雪機を購入し、佐藤が運営委員長を務める清栄生活館と共用にしました。生活館に設置し、燃料代や消耗品経費は3：1の割合で生活館にも負担してもらっています。今冬はスタッフがいうということもあり、4号室の水場凍結防止に取り組みました。水道基本料金の範囲に収まるよう自動でトイレの水を流したり、台所も上下両方に電熱ヒーターを入れるなどの工夫を行った結果、一度も凍結することなく冬を乗り切れました。しかし、2号室と3号室でそれぞれ使用予定があるのに水抜きを忘れて凍結させてしまい、日管建設工業さんに解凍してもらったのは反省点です。

水道光熱費については、スタッフが増えた時期と燃料調整費が値上がり始めた時期が重なり、はっきりとした因果関係は不明ですが、利用しているLoopでんきが1時間毎の変動制を導入した1月の電気代が過去最高を記録しました。また灯油も1年半ぶりに大量に購入したこともあり、トータルではコロナ前の2019年を超える水準となりました。今後電気代については国の激変緩和措置が終了する見込みで、かなりの節電を意識する必要があるようです。

#### コミュニティゲート利用実績（滞在利用・オフィス利用・こども食堂）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数 (件)	0	0	0	1	14	2	0	6	0	0	3	0	26
収入 (円)	0	0	0	30,000	8,000	6,600	0	6,000	0	0	1,500	0	52,100
2020年件数 (件)	1	1	2	3	1	3	3	2	2	1	1	1	21
2020年収入 (円)	0	0	5,000	3,300	0	0	5,000	0	30,250	0	0	0	43,550
2019年件数 (件)	1	2	2	4	3	2	3	1	2	2	2	2	26
2019年収入 (円)	0	9,900	9,900	89,820	9,900	9,900	16,550	11,550	13,500	5,000	85,250	1,100	262,370

※2021年は利用実績ゼロのため掲載せず。 ※2020年以前は日数ではなく件数として計算。

### 水道光熱費比較表

2022年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	5,751	4,689	4,634	6,650	8,358	6,971	8,822	6,957	8,483	14,847	8,186	5,332	89,680
水道	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	384	384	102,368
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯油・ガス	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	4,914	5,372	4,912	4,796	4,912	63,245	6,812	118,943
2021年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	4,892	4,058	4,371	5,653	6,717	4,512	4,554	4,095	4,102	8,686	10,245	9,794	71,679
水道	384	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	112,144
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯油・ガス	4,796	4,796	4,796	25,920	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	78,676
2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	4,738	3,824	3,871	4,906	4,916	4,165	4,930	3,589	5,918	9,335	5,453	5,273	60,918
水道	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	121,920
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯油・ガス	5,364	4,796	4,796	4,796	7,506	4,796	4,796	7,506	5,089	16,943	17,666	4,796	88,850
2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	11,460	7,112	7,004	7,692	8,528	7,463	6,843	6,465	7,219	5,559	6,567	7,477	89,389
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	10,160	10,160	120,080
浄化槽	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200
灯油・ガス	5,264	30,657	4,802	5,554	5,173	6,094	6,187	5,262	5,653	5,939	22,960	5,481	109,026

#### 4) まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業

エコミュージアム等まちづくり活動全般、広報 等

今年度もあまり「エコミュージアム」を意識した活動はできませんでした。看板等の整備も進展はありません。しかし、北広島エコミュージアムの「まちを好きになる市民大学OB会」のみなさんが巡検で夕張にきてくださり、大夕張方面のガイドと講演を行いました。

2021年に制作したパンフレットの増刷を5月に行いました。しばらく改訂する予定がなかったのが大量に印刷しましたが、清水沢駅の解体と夕鉄バス路線の市外線廃止により、近々大幅改訂する必要が発生しています。



## **(5) 地域活動の活性化支援事業**

---

町内会、他の団体、施設の活性化 等

実行委員会主催のコミュニティゲートでの「こども食堂」の再開は、今年も実現できませんでした。地域おこし協力隊のミッションの一つではありますが、優先順位が低く、来年以降の課題です。

町内会などさまざまな行事も、まだ助走段階ながらも徐々に復活し始めました。共催で加わっている三菱大夕張鉄道保存会の汽車フェスタは、縮小開催ながらも8月27日、28日に実施しました。3月11日、東日本大震災から12年の日に、震災を語る会の主催で、福島県大熊町から夕張に移住した関口夫妻の話を伺う会に司会として関わりました。

清栄生活館の運営に今年度から携わり始めましたが、固定利用者がなく葬儀などもほとんど入ることがない悪条件の生活館では、清水沢プロジェクトが一番の利用者になっています。宮前町・清栄町に拠点を置く団体として、コミュニティゲートでは手狭なイベントや来客対応は、集会所や生活館を使用することにしました。金銭的な負担はあるものの、選択肢の多様化につながっています。

## **(6) 地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業**

---

物販、ホームページ、制作物等

6月下旬、「北海道 夕張・幌内を想う会」からの依頼により、当法人が販売元となり、「写真集 汽車のある風景炭鉱の子どもたち 北海道 夕張・幌内 昭和50年（1975）5月」を発行しました。撮影者は昭和50年に北海道を旅して撮影した道外在住の60代男性ですが、健康上の理由から素性を明かさずに写真集を発行したいとのことで、協力することにしました。売れ行きは好調で、手数料を6割もいただき、運営の大きな助けになりました。

昨年度に引き続き、夕張市地域振興課農林係より市民講座のチラシ制作の依頼を受け、5種類制作させていただいたことも、非常に大きな収益となりました。

清水沢プロジェクトオリジナルポストカードは、今年度も制作を見送りました。

## **7) 次世代に地域の誇りを継承する事業**

---

子ども・子育て支援部門地域おこし協力隊支援事業、こども食堂、ハルニレプロジェクト・森の輪 等

### **夕張市地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務**

---

7月末に、今年度の地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務を受託し、支援事業を再開しました。引き続き、「子どもの原風景を育くむ場づくり」を子ども・子育て支援事業の目標とし、8月1日に着任した夏思雅（かしが）の受け入れを行いました。

最初の1年の目標設定を「子どもたちにいい教育を受けさせる」とし、行動目標を細かく作成しました。続いて各関係機関にヒアリングし、夕張の子ども・子育て支援環境の調査を行いました。その過程で、留学した大学を除いては日本で教育を受けていないことから、現場を学ぶ必要があると気づき、自発的に小中高の地域公開授業に参加しました。そのことをきっかけに高校から地理総合授業の講師の依頼があり、四川省の気候が食に影響していることを座学で学び、調理実習を行うという授業を3月8日に実施しました。ほかにも、埼玉県秩父市の地域おこし協力隊で化石を学んだ経験があることから、子ども・子育て支援係の高橋係長にも協力いただき、小学生を対象にした化石のレプリカづくりワークショップを12月に実施しました。このような本人の力量は教育現場で評判を呼び、春休みには学童クラブで中国文化を紹介する講話の依頼を受けました。約半年間で目標としていたことを着実に進め、地域の人々の信頼も得て、本人も自信がついたと思います。

ほかに前任者の時代から続くSNS「ゆうばりっこページ」は、Facebookに加えて市内の子育て世代の利用が多いInstagramのアカウントも開設し、子ども・子育て支援係の臨時職員とともにりすた「ゆうばりっ子ひろば」の装飾等も実施しました。

着任が8月となり、新任職員研修の時期でもなかったことから、副市長に依頼し、地域おこし協力隊3名（当時）の研修を実施していただきました。また昨年度からの栗山町の交流の経緯もあり、12月には4名の隊員全員で栗山町に視察に伺いました。横のつながりができたことで、地域おこし協力隊全体の報告会を実施することになり、話し合いを進めているところです。

## ハルニレプロジェクト・Yubari WOOD START プロジェクト・森の輪（わっこ）

ハルニレプロジェクトは、12月、延び延びとなってしまいましたが寄附者への報告として報告書と映像DVDを送付し、事業終了となりました。こども園に寄贈したすべり台は、床暖房で乾燥がいつそう進み、1月以降修理のため使用停止となってしまいました（4月に修理済み）。櫻井亮さんには5年間のメンテナンスをお願いしており、今後は使用停止の期間が発生しないようにしていきたいと思います。

ハルニレプロジェクトで伐採した樹木のうち、エゾヤマザクラを使用した「森の輪」の乳幼児健診時の配布は4年目となりました。校庭木の活用は市の木育事業として実施の予定があり、未来の子どもたちに引き継ぐ活動は着実に進んでいます。

## (8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

研究サポート、講演、コンサルティング 等

今年度より実施している市営3浴場の会計事務サポートは年間で40万円ほどになり、作業量も多いものの非常に重要な収益源となっています。各浴場に定期的に伺う機会にもなり、このようなことが宮前町浴場での調査室展につながりました。

人流が戻るにつれ視察も何件か入り、今年は中学だけでなく高校でも2時間の授業を担当しました。3年ぶりとなる対面でのイベントは、札幌SCARTSで開催された道内のAIRに関わる人々が集まるオープン・ミーティングに出演しました。

# 第7期（2022年度）決算

## 貸借対照表

2023年3月31日現在

一般社団法人清水沢プロジェクト(事業全体)

単位:円

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	2,364,137	未払金	175,360
売掛金	11,500	未払費用	3,160
立替金	△ 16,577	未払法人税等	80,000
前払費用	24,691	預り金	28,571
役員貸付金	220		
未収入金	248,397		
流動資産合計	2,632,368	流動負債合計	287,091
固定資産		負債合計	287,091
有形固定資産		正味財産の部	
工具器具備品	490,747	科 目	金額
固定資産合計	490,747	一般正味財産	
		前期正味財産	1,746,959
		当期正味財産増減額	1,089,065
		正味財産合計	2,836,024
資産合計	3,123,115	負債及び正味財産合計	3,123,115

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	収益事業	非営利事業	合計
経常増減の部			
経常収益			
正会員受取会費	0	131,344	131,344
一般会員受取会費	0	69,808	69,808
賛助会員受取会費	0	80,336	80,336
受取寄附金	0	1,136,801	1,136,801
受取助成金	0	269,000	269,000
売上高	4,467,082	34,000	4,501,082
雑収入	1,922,860	740,931	2,663,791
受取利息収入	19	8	27
	6,389,961	2,462,228	8,852,189
経常費用			
仕入高	134,040	1,445	135,485
研修費	9,391	3,449	12,840
役員報酬	796,924	307,076	1,104,000
給料手当	2,200,000	0	2,200,000
雑給	33,000	0	33,000
法定福利費	373,161	40,664	413,825
福利厚生費	20,427	5,722	26,149
外注費	14,715	5,670	20,385
荷造運賃	6,647	0	6,647
広告宣伝費	20,602	22,252	42,854
交際費	31,364	18,136	49,500
会議費	63,733	33,203	96,936
旅費交通費	31,854	11,473	43,327
通信費	124,062	47,074	171,136
消耗品費	223,362	53,976	277,338
修繕費	1,020,000	340,000	1,360,000
水道光熱費	257,149	53,842	310,991
新聞図書費	30,643	11,807	42,450
諸会費	12,993	35,447	48,440
支払手数料	137,652	48,018	185,670
車両費	477,707	184,073	661,780
燃料費	2,339	901	3,240
地代家賃	57,200	0	57,200
保険料	25,043	11,467	36,510
租税公課	2,866	334	3,200
支払報酬料	216,677	83,491	300,168
寄付金	3,609	1,391	5,000
減価償却費	26,290	8,763	35,053
経常費用計	6,353,448	1,329,676	7,683,124
法人税、住民税及び事業税	0	80,000	80,000
当期正味財産増減額	36,514	1,052,551	1,089,065
前期繰越正味財産額	130,756	1,616,203	1,746,959
次期繰越正味財産額	167,270	2,668,754	2,836,024

2022年度収支決算(部門別内訳)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

科目	決算額		内訳								備考	
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業	7次世代に地域の誇りを継承する事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業		9前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業
<b>経常増減の部</b>												
<b>経常収益</b>												
正会員受取会費	131,344											131,344
一般会員受取会費	69,808											69,808
賛助会員受取会費	80,336											80,336
受取寄附金	1,136,801			5,000								1,131,801
受取助成金	269,000		21,000									248,000
売上高	4,501,082		568,650		52,100	27,650	10,000	272,790	3,133,142	435,100		1,650
雑収入	2,663,791		△ 1		1,563,790							1,100,002
受取利息収入	27											27
<b>経常収益計</b>	<b>8,852,189</b>	<b>8,852,189</b>	<b>589,649</b>	<b>5,000</b>	<b>1,615,890</b>	<b>27,650</b>	<b>10,000</b>	<b>272,790</b>	<b>3,133,142</b>	<b>435,100</b>		<b>2,762,968</b>
<b>経常費用</b>												
仕入高	135,485											1,927
役員報酬	1,104,000								133,558			1,104,000
給料手当	2,200,000									2,200,000		借上職員住宅化のため住宅手当新設、携帯電話借上料はなし
法定福利費	413,825								267,631			146,194
福利厚生費	26,149								5,577			20,572
租税公課	3,200								2,000			1,200
修繕費	1,360,000				1,360,000							屋根修繕
水道光熱費	310,991				310,991							
諸会費	48,440						14,000			30,440		4,000
荷造運賃	6,647							6,647				
車両費	661,780											661,780
燃料費	3,240				3,240							
支払報酬料	300,168											300,168
旅費交通費	43,327									2,080		41,247
地代家賃	57,200									57,200		
雑費	0											
雑給	33,000		33,000									
交際費	49,500			6,050			6,050					37,400
研修費	12,840			7,000						440		5,400
外注費	20,385		20,385									
広告宣伝費	42,854					18,319			17,140			7,395
会議費	96,936		41,613	3,341	8,156	750	4,112		2,200			36,764
通信費	171,136				101,127				43,439	2,780		23,790
消耗品費	277,338		71,011	992	102,528		4,280	258	12,266	895		85,108
新聞図書費	42,450											42,450
支払手数料	185,670		5,370		880			1,977	9,240	2,585		165,618
保険料	36,510		2,850		940							32,720
寄付金	5,000											5,000
減価償却費	35,053				35,053							
<b>経常費用 計</b>	<b>7,683,124</b>	<b>7,683,124</b>	<b>153,844</b>	<b>37,768</b>	<b>1,922,915</b>	<b>19,069</b>	<b>28,442</b>	<b>142,440</b>	<b>2,649,653</b>	<b>6,260</b>	<b>0</b>	<b>2,722,733</b>
法人税、住民税及び事業税	80,000											
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>1,089,065</b>											
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>1,746,959</b>											
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>2,836,024</b>											

(単位 円)